

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-318259

(P2004-318259A)

(43) 公開日 平成16年11月11日(2004. 11. 11)

(51) Int. Cl.⁷

G07G 1/12

G06F 17/60

F I

G07G 1/12 3 2 1 L

G06F 17/60 3 2 4

テーマコード (参考)

3 E 0 4 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2003-108023 (P2003-108023)

(22) 出願日 平成15年4月11日 (2003. 4. 11)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(74) 代理人 100108187

弁理士 横山 淳一

(72) 発明者 白井 登美子

群馬県前橋市問屋町1丁目8番地3 株式
会社富士通ターミナルシステムズ内Fターム(参考) 3E042 CA02 CC02 CC04 CC10 CD04
EA01

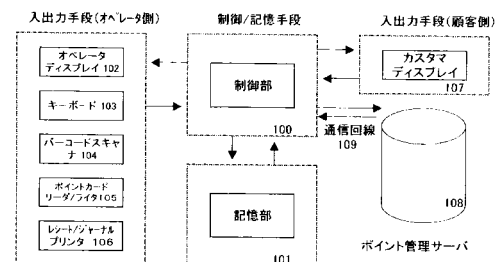
(54) 【発明の名称】 ポイント管理装置、POS装置、POSシステム及びプログラム。

(57) 【要約】

【課題】従来のポイントが付与されるシステムでは、商取引の1会計内において、複数のユーザに対してポイントを分割して付与することはできない。また、会計などを行う際の割勘や個別会計などと同様に、ポイントを付与する方法を自由に簡単な操作で選択することはできないという問題がある。

【解決手段】本発明は、商取引に伴い、与えられたポイントを利用できる対象者が入力され、入力された対象者各個人に前記ポイントを分割して付与することを特徴とする。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

商取引に伴い与えられたポイントを付与すべき対象者が入力され、入力された対象者各個人に前記ポイントを分割して付与することを特徴とするポイント管理装置。

【請求項 2】

商取引の対象商品に関する情報を入力する商品入力部と、
商取引の取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者を入力する入力部と、
商取引に関する情報を出力する出力部と、
個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファイルと、
前記商品入力部により入力された情報に基づき前記マスタファイルを参照し、入力部より入力された対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与するとともに、結果を前記出力部より出力させる制御部、
とを備えることを特徴とする P O S 装置。

10

【請求項 3】

ネットワークを介して利用可能な、商取引毎に発生するポイントを管理する上位装置と、
商取引の対象商品に関する情報を入力する商品入力部と、
商取引に伴い、取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者を入力する入力部と、
商取引に関する情報を出力する出力部と、
個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファイルと、
前記商品入力部により入力された情報に基づき前記マスタファイルを参照し、入力部より入力された対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与するとともに、結果を前記出力部より出力させる制御部とを有する下位装置
とからなることを特徴とする P O S システム。

20

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 に記載される、ポイントを利用できる対象者を入力する方法で、1 名に全ポイントを付与するか、指定人数に均等に分割して付与するか、指定人数に個々に指定したポイントを付与するかを選択することを特徴とする P O S 装置。

30

【請求項 5】

個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファイルにアクセスし、入力された商取引の対象商品に関する情報に基づいて、商取引に伴い、取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与する機能を備えたことを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、商取引した際に利用額に応じてポイントが付与され、所定のポイントを客に付与する、ポイント管理装置、P O S システム及び P O S 装置に関するものである。

40

【0002】

【従来の技術】 従来、ポイントサービスを提供する店舗では、独自に会員にポイントカード等を発行し、会員が商品やサービスを利用した金額に応じてポイントが会員に対して付与される。会員は、付与されたポイントをためて、累計が定められた基準ポイントに達すると、種々の景品や旅行や店舗利用の際にポイントカードに記録されたポイント分を利用金額から割引される等のサービスを受けることができる。

【0003】

会員は、店舗を頻繁に利用すれば、それだけポイントが多く付与され、店舗側では会員のカード使用により、商品販売、サービスの利用も促進されるので、利益の向上等の効果を

50

期待することができる。

【0004】

しかしながら、会員に付与されるポイントは、商取引で支払いをしたカード所有者だけに付与され、例えば飲食店に複数の客が来店した場合、一括して支払う際に、利用金額に応じて付与されたポイントは、支払者にのみすべてのポイントが付与されていた。

【0005】

これでは、1取引内で支払者以外の会員がポイントの付与を希望しても、ポイントは得られず、また来店した複数の客が割勘により支払いをする場合においても、合計ポイントが分割されて個々に付与されることはなかった。

【0006】

すなわち、1取引内の合計ポイントが店側や会員側にとって、自由に取扱うことができないという問題点があった。

【0007】

そこで、このような問題点を改善するものでポイント管理装置、POS装置及びPOSシステムとして、商品等を購入した際には、実際に商品等を購入した人だけではなく、他の人にも所定のポイントを付与する、方法及びシステムが特許文献1に開示されている。

【0008】

かかる方法及びシステムを用いることで、ユーザは自己が商品等を購入した金額に対応した通常ポイントに加えて、自己の商品等の購入と係わり無く、追加ポイントの付与を受けられるようになる。

【0009】

【特許文献1】特開2002-170022号公報

【0010】

【発明が解決しようとする課題】

商取引した際に、一括して支払った会員にだけに付与された全ポイントが分割され、他の人にも希望する値のポイントが付与されるシステムを実現するには、上記のような従来の技術では下記のような解決すべき課題がある。

【0011】

特開2002-170022号公報によれば、複数グループに所属する複数ユーザの商品等の購入に際して、使用した金額が最も高額な合計金額を有するグループに所属する、全てのユーザに対して、追加ポイントが付与される。

【0012】

しかし、商取引の1会計内において、複数のユーザに対してポイントを分割して付与することはできない。また、会計などを行う際の割勘や個別会計などと同様に、ポイント付与する方法を自由に簡単な操作で選択することはできない。

【0013】

よって、本発明は、店舗での支払時の際にレジ等において、カスタマディスプレイのタッチパネル等から、ポイントを分割し、分割されたポイントを自由に指定できるポイント管理装置及びPOSシステムを提供することを目的としている。

【0014】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するべく、本発明は以下の構成のポイント管理装置及びPOSシステムを提供する。

【0015】

請求項1記載の発明は、商取引に伴い与えられたポイントを付与すべき対象者が入力され、入力された対象者各個人に前記ポイントを分割して付与することを特徴とする。

【0016】

請求項2記載の発明は、商取引の対象商品に関する情報を入力する商品入力部と、商取引の取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者を入力する入力部と、商取引に関する情報を出力する出力部と、個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファ

10

20

30

40

50

イルと、前記商品入力部により入力された情報に基づき前記マスタファイルを参照し、入力部より入力された対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与するとともに、結果を前記出力部より出力させる制御部とを備えることを特徴とする。

【0017】

請求項3記載の発明は、ネットワークを介して利用可能な、商取引毎に発生するポイントを管理する上位装置と、商取引の対象商品に関する情報を入力する商品入力部と、商取引に伴い、取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者を入力する入力部と、商取引に関する情報を出力する出力部と、個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファイルと、前記商品入力部により入力された情報に基づき前記マスタファイルを参照し、入力部より入力された対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与するとともに、結果を前記出力部より出力させる制御部とを有する下位装置とからなることを特徴とする。

【0018】

請求項4記載の発明は、請求項1から請求項3に記載される、ポイントを利用できる対象者を入力する方法で、1名に全ポイントを付与するか、指定人数に均等に分割して付与するか、指定人数に個々に指定したポイントを付与するかを選択することを特徴とする。

【0019】

請求項5記載の発明は、個々の商品毎に、当該商品がポイントの対象となるか否かを示す情報及び、当該商品に付与されるポイント数に関する情報を格納するマスタファイルにアクセスし、入力された商取引の対象商品に関する情報に基づいて、商取引に伴い、取引価格に応じて発生するポイントを利用できる対象者各個人に、前記ポイントを分割して付与する機能を備えたことを特徴とする。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面によって具体的に説明する。図1はシステム構成概要図、図2はPOS端末を概略的に示す外観斜視図、図3は機器構成図、図4は具体的な処理の流れを示すフローチャート図、図5～図13はオペレータ画面図である。

【0021】

図1はシステム構成概要図であって、かかるシステムは、店舗内の売場等にそれぞれ設置される複数台のPOS端末装置1と、同一店舗内の事務所等に設置されるポイント管理サーバ2の商品マスタ3に接続して、商品データ照会をするPOSシステムを構築し、POS端末装置から、売上明細と売上によるポイント数が記録されたレシート4の印字発行が行われるものである。

【0022】

図2はPOS端末を概略的に示す外観斜視図で、POS端末装置1は、マイクロコンピュータを内蔵したコントローラユニット10、金銭を収納するドロアユニット20、各種のキーが配列されたキーボード30、オペレータのためのCRTディスプレイ40、顧客のためのディスプレイ50、レシートを発行するためのプリンタ60、バーコードスキャナ70、及び磁気カードリーダー80などから構成されている。サーマルプリンタ60は、ドットの組合せにより、文字及びロゴマークといった任意の画像を所定幅のレシート用紙（ロール紙）に印字する。

【0023】

バーコードスキャナ70は、商品などに付与されたバーコードを光学的に読み取り、コードに応じたビットデータを出力する。

【0024】

図3は、POS端末の制御系を示す機器構成図であって、POS端末装置は、制御部本体の中に通信回線109を介してポイント管理サーバ108と接続する制御部100と入力された情報を記憶する記憶部101を搭載している。また、オペレータに対して登録商品データ、支払方法及びポイント付与選択方法等を表示するオペレータディスプレイ102

、及び客に対して登録商品データ、支払方法及びポイント付与選択方法等を表示するカスタマディスプレイ107が構成されている。そして、キーボード103、バーコードスキャナ104、ポイントカードリーダー・ライタ105、プリンタ106が接続されている。以上の構成によって、以下に示すような、商取引の際に付与されたポイントの分割動作が行われる。

【0025】

図4は、具体的な処理の流れを示すフローチャート図である。

【0026】

【実施例】実施例1～3では、図5から図13に示すオペレータ画面図が表示される。まず、オペレータはPOS端末装置内の、キーボード103またはバーコードスキャナ104等の入力手段により客が飲食した商品を登録する。(ステップ1)これにより、商品情報が読み込まれ、制御部100は、通信回線109を介してポイント管理サーバ108内の商品マスタ3より取得し、得られた商品情報を記憶部101に記憶し、オペレータディスプレイ102で登録した商品と支払方法を表示する。(ステップ2)例えば、図5に示される支払方法の選択画面が商品登録後に表示される。

10

【0027】

支払方法は、現金の他にクレジットカード等の各種券類が可能である。支払方法の選択種類には、飲食した複数客のうちの1名が全額支払う一括方法と、人数で均等に割り各人が支払う割勘方法と、各人が飲食した分を個々に支払う個別方法とがある。例えば、図5の支払方法の選択画面で割勘がオペレータもしくは客により選択されると、図6に示される割勘選択時の画面が表示される。ここで、客がポイント付与を希望する場合は、ポイントキーを押下する。

20

【0028】

続いて、オペレータもしくは客のディスプレイに図7に示されるポイント付与選択キーが表示される。(ステップ3)ポイント付与選択方法には、商取引の際に付与された全ポイントを複数客のうちの1名だけに付与する1名方法と、指定人数に均等に分割して付与する指定均等分割方法と、指定人数に個々に指定したポイントを付与する指定個別分割方法とがある。

【0029】

この実施例では、ポイントを付与、分割する処理をPOS端末装置と、カードを挿入して読取、書込を行う、カード処理装置を使用した例を説明する。

30

【0030】

しかし、本発明はこれに限られるものではない。

【0031】

すなわち、ポイントを分割する装置としては、POS装置とは別に店内に設置するようにしてもよい。この装置を使用し、ポイントをカードから取出す、或いは上位を介して、レシートを対応付けておき、レシートのコードで、ポイントを上位装置から読み出すようにしてもよい。

【0032】

このポイントを実施例1～3で後述するように分割して、各個人に付与するようにしてもよい。

40

【0033】

このようなPOSとは独立した装置があれば、POSが混雑しなくてすむ。

【0034】

しかし、本発明はこれに限られるものではない。すなわち、ポイントを分割する装置としては、POS装置とは別に店内に設置するようにしてもよい。この装置を使用し、POS装置とは別に店内に設置するポイントを、カードから読み出す、或いは上位を介してレシートを対応付けておき、レシートのコードでポイントを上位装置から読み出すようにしてもよい。

【0035】

50

このポイントを、実施例 1～3 で後述するように、分割して各個人に付与するようにしてもよい。

【0036】

このような P O S とは独立した装置があれば P O S が混雑しなくてすむ。

【0037】

客が利用するポイントカードは、商取引の開始時にポイントを取扱う装置に挿入あるいは走査する。商取引が終了し、付与されたポイントの分割動作が行われる際に、ポイントカードを挿入あるいは走査することも可能である。これにより、ポイントカードの個人情報（I D、氏名、現在までのポイント数）を得る。また、ネットワークに接続されている、ポイント管理装置及び P O S 装置では、ポイントカードを挿入あるいは走査すれば、いつでも付与されたポイントの分割処理を行うことが可能である。 10

【0038】

以下に、図 7 に示されるポイント付与選択キーのうち、実施例 1 として 1 名キーを選択する場合、実施例 2 として指定均等分割キーを選択する場合、実施例 3 として指定個別分割キーを選択する場合について、処理の流れを説明する。

【0039】

1) 実施例 1（1 名キーを選択する場合）

実施例 1 として、商取引の際に付与された全ポイントを顧客団体のうちの 1 名だけに付与する 1 名キーを選択し押下すると、ポイントカード上の既存ポイントに今回の全ポイントが加算され、（ステップ 4）ポイント付与処理が終了する。（ステップ 140） 20

2) 実施例 2（指定均等分割キーを選択する場合）

実施例 2 として、指定人数に均等に分割して付与する指定均等分割キーを選択し押下すると、オペレータもしくは客のディスプレイに図 8 に示される人数入力画面が表示される。（ステップ 40）入力した人数より均等にポイントが分割される。（ステップ 50）ここで、ポイントを分割した際に端数がある場合には、（ステップ 60）図 9 に示される人数分のキーと、各キーに分割したポイント数の画面が表示される。（ステップ 70）

例えば、図 9 において商取引の際に付与された合計ポイント数は、20 ポイントなので、前のステップで 3 人で均等にポイントが分割されるように入力すると、3 人分のキーが表示され、20 ポイントを 3 人で分割した 6 ポイントが、3 人分のキーと共に画面表示される。また、端数の 2 ポイントも同時に画面表示される。ここでは、No. 1、No. 2、No. 3 として 3 名をキー表示しているが、ポイントカードにより名前や記号などが表示されてもよい。 30

【0040】

続いて、図 9 に示される人数分のキーに分割されたポイント数が同時に表示された、キーを押下することで、（ステップ 80）そのキーに端数のポイントが加算され、端数が表示される箇所には、残端数が表示される。（ステップ 90）

例えば、図 10 において前画面（図 9）に表示された端数の 2 ポイントは、No. 1 を一回押下し、No. 2 を一回押下すると、それぞれに 1 ポイントずつ加算され、端数は 0 ポイントになる。

【0041】

残端数がなくなるまで、キーを押下することでポイントは加算され、処理は繰り返される。（ステップ 100） 40

ステップ 60 において、商取引の際に付与された全ポイントが入力人数で割り切れ、端数がない場合は、残端数がない状態として取扱われる。

【0042】

続いて、ポイント決済によるキーの押下がなされると、（ステップ 110）予め挿入してあるポイントカード上の既存ポイントに、今回の商取引の際に付与され、分割されたポイントが加算される。（ステップ 120）

続いて、商取引の際に付与された全ポイントの処理が完了するまで、ポイントカード上の既存ポイントに今回の商取引によるポイントの加算処理が続けられ、（ステップ 130） 50

全処理が完了すると、ポイントカードを受取りポイント付与処理が終了する。(ステップ140)

3) 実施例3 (指定個別分割キーを選択する場合)

実施例3として、指定人数に個々に指定したポイントを付与する指定個別分割キーを選択し押下すると、オペレータもしくはカスタマのディスプレイに図8に示される人数入力画面が表示される。(ステップ400)

続いて、人数分のキーと指定することができるポイント数が画面に表示される。(ステップ500) 人数分のキーのうち、ポイントの付与を希望するキーを押下し、付与するポイント数を入力する。(ステップ600) すると、前記キーに入力したポイントが表示され、また全ポイントから入力ポイントを引いた、残りのポイントが画面に表示される。(ステップ700) 表示されている全キーそれぞれに、希望するポイントが入力されるまで処理は繰り返され、残りのポイントがなくなると入力処理は完了する。(ステップ800) 例えば、図11において、指定人数が3名と指定されると、商取引の際に付与された合計ポイント数は20ポイントで、まだポイントの指定がなされていないので、残ポイントとして20ポイントが画面に表示される。また、指定人数である3名のキーもNo. 1、No. 2、No. 3として同時に画面表示される。

10

【0043】

カスタマあるいはオペレータがNo. 1のキーを押下した後、図12に示されるように、キーボードにより5を入力することで5ポイントが指定され、No. 2のキーを押下した後、キーボードにより10を入力することで10ポイントが指定され、No. 3のキーを押下した後、キーボードにより5を入力することで5ポイントが指定される。(図13) 入力方法としては、キーボードを用いても、ポイント数が少ない場合には、No. 1、No. 2、No. 3のキーをそれぞれ希望するポイントになるまで、数回押下してもよい。

20

【0044】

ここでは、No. 1、No. 2、No. 3として3名をキー表示しているが、ポイントカードにより名前や記号などが表示されてもよい。

【0045】

ポイントの入力処理が完了した後は、実施例2における、残端数がない状態として取扱われ、その後の処理はステップ110からと同様である。

【0046】

以上の実施例では、図5に示される支払方法の選択画面で、人数で均等に割り各人が支払う割勘方法を選択したが、1名が複数名の飲食代金を全額支払う一括方法の場合でも、ポイント付与数の合計は同じである。

30

【0047】

また、各人が飲食した分を個々に支払う個別方法を選択した場合は、個々にポイントが付与される。この際、飲食した複数客の間で、ポイントを譲渡することも可能である。

【0048】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、店舗での支払時の際にレジ等において、カスタマディスプレイのタッチパネル等から、ポイントを分割し、分割されたポイントを自由に指定できるようになる。

40

【0049】

これにより、商取引において、付与されたポイントを分割することで、複数人で来店した際の合計ポイントを、それぞれに希望通りに付与することができ、利用客は頻繁にサービスを利用するようになり、店側にとっても売上の向上や宣伝効果の拡大が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 システム構成概要図

【図2】 POS端末を概略的に示す外観斜視図

【図3】 機器構成図

【図4】 具体的な処理の流れを示すフローチャート図

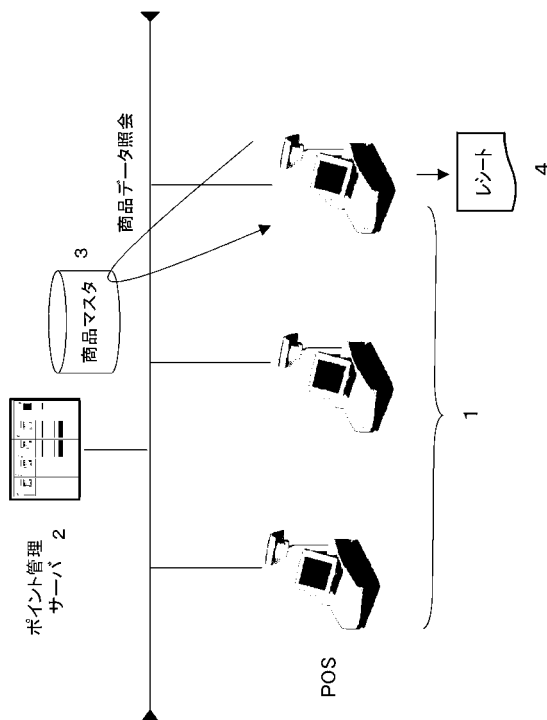
【図5】 オペレータ画面図 (支払方法の選択画面図)

50

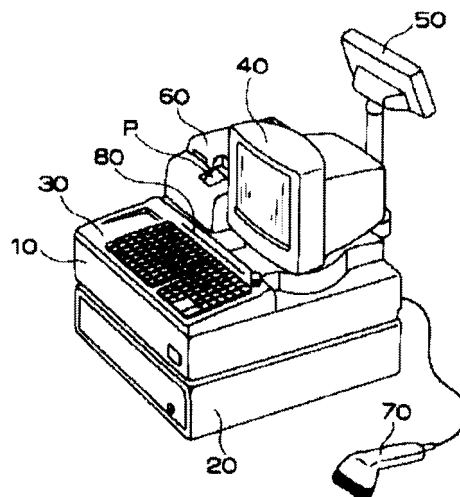
- 【図 6】オペレータ画面図（割勘選択時の画面図）
【図 7】オペレータ画面図（ポイント付与選択画面図）
【図 8】オペレータ画面図（人数入力画面図）
【図 9】オペレータ画面図（分割画面図）
【図 10】オペレータ画面図（ポイント加算画面図）
【図 11】オペレータ画面図（指定人数個別分割画面図）
【図 12】オペレータ画面図（ポイント指定画面図）
【図 13】オペレータ画面図（ポイント付与指定完了画面図）
【符号の説明】

1 … P O S 端末装置	10
2 … サーバ	
3 … 商品マスタ	
4 … レシート	
10 … コントローラユニット	
20 … ドロアユニット	
30 … キーボード	
40 … オペレータのための C R T ディスプレイ	
50 … 顧客のためのディスプレイ	
60 … プリンタ	
70 … バーコードスキャナ	20
80 … 磁気カードリーダー	
100 … 制御部	
101 … 記憶部	
102 … オペレータディスプレイ	
103 … キーボード	
104 … バーコードスキャナ	
105 … ポイントカードリーダー・ライタ	
106 … レシート・ジャーナルプリンタ	
107 … カスタマディスプレイ	
108 … ポイント管理サーバ	30
109 … 通信回線	

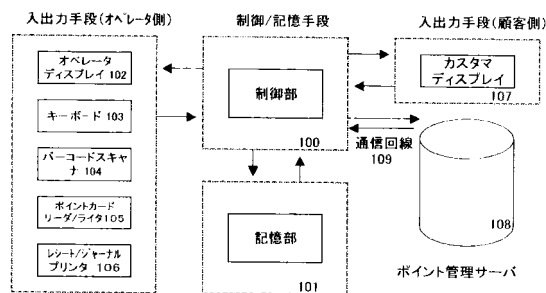
【図 1】



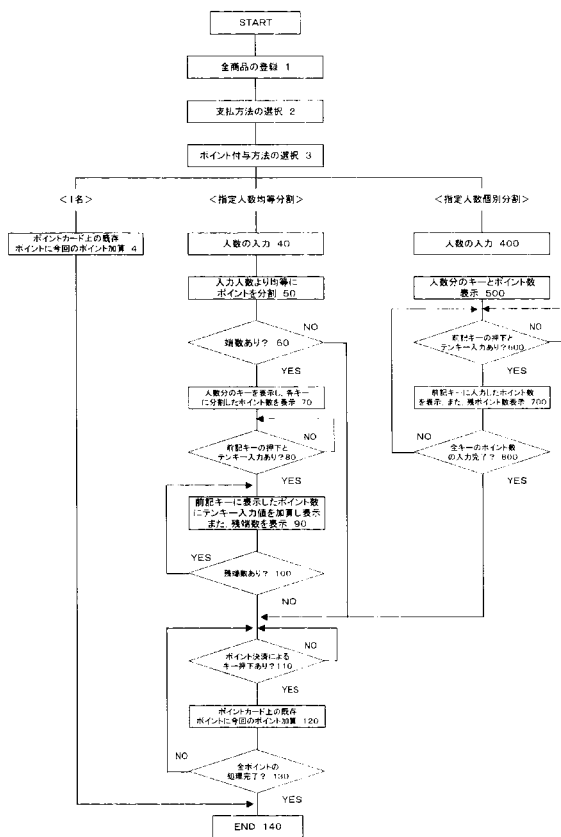
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

客数	3名
メニューA	¥1500
メニューB	¥1500
メニューC	¥1500
酒類	¥4000
刺身盛合せ	¥3500
小計	¥12000
消費税	¥600
合計	¥12600

一括 割勘 個別

【図 6】

客数	3名	<割勘>
メニューA	¥1500	
メニューB	¥1500	
メニューC	¥1500	
酒類	¥4000	
刺身盛合せ	¥3500	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント

【図 7】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント

1名

指定
均等
分割

指定
個別
分割

【図 9】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント

お一人様ポイント数 6ポイント
端数 2ポイント

No. 1
6P

No. 2
6P

No. 3
6P

【図 8】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント

人数を入力して下さい。

【図 10】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント
お一人様ポイント数 6ポイント
端数 0ポイント

No. 1
7P

No. 2
7P

No. 3
6P

【図 11】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント
残ポイント 20ポイント

No. 1

No. 2

No. 3

【図 13】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント
残ポイント 0ポイント

No. 1
5

No. 2
10

No. 3
5

【図 12】

客数 : 3名	<割勘>	
小計	¥12000	
消費税	¥600	
合計	¥12600	お一人様 ¥4200

ポイント付与数(合計) 20ポイント
残ポイント 15ポイント

No. 1
5

No. 2

No. 3